

りしかれども近世になりて、豊後國姥が嵩^{倭漢}才圖會^{越前肥後土佐}本草綱より出るといへば、全く
皇朝になしともいひがたきにや。

篇遲久
沙古丹竹

篇遲久は斑竹の字音にて和漢通名なり、其一名を花斑竹、一名班皮竹、一名研竹、一名箭竹ともいふ、これに數種あり、今とらふ竹、一名とら竹、一名まだら竹、一名らう竹、一名沙古丹竹、一名豊後竹、一名玳璣竹、一名鼈甲竹といへるは、其高さ大抵五六尺にして、徑三分餘、每節相去る事四五寸、枝は中幹より以上に生じ、すべて獨枝にして、その高さ本幹と同じ、或は四枝或は二枝なるもあれども、葉は其梢杪に並びつきて、六葉を以て一朶とす、或は四葉五葉のものは下の一二葉の枯落にして、その葉長さ一尺一寸、廣さ二寸八分許、また肥地に植るものは、長さ一尺五寸餘、廣さ三寸二分許に至る、葉の正中には尋常の熊筐と同じく、葉本より葉先に通じて、一縱に道あり、其左右また十二三道の細縦理相並びて、共に葉本より葉先に至る、此種蝦夷地方に產するものは、風雪に襲はれて、本根をのれと彎曲して、狀弓影の如くなれ共、他國に產するものは玄からず、すべて毎節下紫黒色にして、斑紋あり、その斑毎幹上節より染出て下節に至る、されども大方は半はにして、一節間すべて紫黒色なるもの少なし、また此竹中幹より以上は、たゞ青色にして尋常の熊筐と同じく、斑文絶てなし、此種は今小笠原相模守本所柳島の別荘にありて、數百萬幹池邊に叢生し、灑々最愛すべし、又松平越中守大塚の下邸にも多し。
○下略

〔重修本草綱目啓蒙二十六〕

〔芭木〕

班ハ班竹ナリ、マダラダケ、トラフダケ、トラダケ、州豊後ダケ、ラウダケ、老撾ハ東天竺ノ國ノ名、占城ニ近ク安南ノ西北ニ接ス、其國班竹數品アリ、最初此竹ニテ烟管ヲ造リ渡ス故ニ今煙管ニ用ユル細竹ヲ、總ジテラウト云、班竹ハ皮上ニ黒班アルヲ云、豊後、越前、肥後、土佐、其餘諸州ニ出、大小